

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	令和2年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会 「第2回在宅医療・介護連携推進部会」
開催日時	令和3年3月19日（金） 午後2時から午後3時
開催場所	清須市役所北館2階 第1会議室・第2会議室
議題	1. 開会 2. 議事 （1）在宅医療介護連携取組状況（資料1） （2）市外連携医療機関への在宅医療・介護連携に関するアンケート結果および他職種との連携課題把握調査分析（資料2）（資料3）（参考資料1・2） 3. その他 4. 閉会
会議資料	清須市地域包括ケアシステム推進委員会委員名簿 清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱 令和2年度在宅医療・介護連携推進事業取組状況について（資料1） 市外連携医療機関への在宅医療・介護連携に関するアンケート結果（資料2） 他職種との連携課題把握調査分析内容（資料3） 入院時情報連携シート（参考資料1） 入院時情報連携シート活用に関する現状報告（参考資料2）
公開・非公開の別 （非公開の場合 はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	加藤委員（部会長）、大前委員、堀江委員、脇田委員、新美委員
欠席委員	山口委員、太田委員
出席者 （オブザーバー）	西名古屋医師会在宅医療サポートセンター 中西コンダクター
出席者 事務局	（清須市役所高齢福祉課） 古川高齢福祉課長、幸村課長補佐兼介護予防係長、石黒主任主査、竹内主査 （清須市社会福祉協議会地域包括支援センター） 柴垣管理者、松岡係長

会議の経過

1. 開会

●事務局

只今から令和2年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会「第2回在宅医療・介護連携推進部会」を始めさせていただきます。

私は、本日の進行役を務めさせていただきます高齢福祉課長の古川です。よろしくお願いいたします。

会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知いただきたい事項として、清須市では附属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、附属機関等の会議及び会議録は原則公開することになっておりますのでご承知おきください。

なお、本日傍聴者はお見えになりません。

それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。着座にて失礼いたします。

続きまして、委員の紹介についてですが、お手元の委員名簿にて委員紹介に代えさせていただきます。本日は山口委員、太田委員がご都合により欠席でございます。また、オブザーバーとして、西名古屋医師会在宅医療サポートセンターのコンダクターであります中西様にご出席していただいておりますので、宜しくお願ひ致します。事務局の職員につきましては、名簿にて記載してありますのでご参照ください。なお、福祉部長につきましては所用につき欠席させていただきます。

次に、議事に入りますが、議事進行につきましては、設置要綱第6条第4項の規定により部会長が議長になることになっておりますので、議事進行につきましては、加藤部会長に議長をお願いいたします。よろしくお願ひ致します。

◎加藤部会長

〔部会長挨拶〕

加藤部会長より会議録署名委員に堀江委員、脇田委員を指名。

(堀江委員、脇田委員承諾)

2. 議事

●事務局

〔資料に沿って説明〕

(1) 令和2年度在宅医療介護連携取組状況(資料1)

(2) 市外連携医療機関への在宅医療・介護連携に関するアンケート結果および他職種との連携課題把握調査分析(資料2)(資料3)

(3) (参考資料1・2)

◎加藤部会長

議事（１）について資料１は、今年度の在宅医療介護連携推進事業の取り組み報告でした。

議事（２）の資料２では、市外の医療機関へのアンケートの結果報告、資料３では、この尾張中部地域の居宅や訪問介護、訪問看護、通所サービス事業所に行ったアンケート結果となっています。このあたりからご意見ご質問ございますか。

○脇田委員

資料２のアンケート結果のⅡの１の②在宅時の連絡先とありますが、在宅時とは何を指しますか。

●事務局

退院した際にどこと連携をとっていけばよいかという意味です。

◎加藤部会長

はなさきクリニックさんの方で病院からの情報不足で困ったような経験がありますか。

○新美委員

ほとんどがケアマネを通しての情報になりまして、ケアマネに確認することになるので特に困ったことはありません。

◎加藤部会長

サポートセンターの方ではどのようなケースがありますか。

○中西コンダクター（オブザーバー）

最近のケースとしては、退院するにあたって訪問診療ですとか在宅の医師や看護師を調整したいのですが、例えば清須市のどこの医師が、どこの事業所がどのような医療や看護の対応をしてくれるのかというように事を情報として教えて欲しいという相談が多い状況です。

退院の目途の問い合わせについては対応していないというのはおそらく最初の入院時に説明した上で該当の方に関しては特に退院支援の対象ではないという場合は看護師さんで対応して、MSWがそこまで関わっていないのではないかと思っております。

◎加藤部会長

ありがとうございます。それぞれの立場で情報が十分得られているかどうかということだと思います。

参考資料1の情報連携シートについては使っておられますでしょうか。

○脇田委員

当事業所は入院時はこちらのシートを使用して情報提供をしております。私の感じた感想はだいたい知りたい情報は網羅された内容が記載されているのではないかと思います。作っている手応えといいますか、感想はいい感じではないかと思います。ワーカーからも色々情報が載っていて良いという話を聞いております。

◎加藤部会長

この連携シートをもらうのは紙媒体ですか。メール等の電子媒体ですか。

○脇田委員

基本的にFAXです。

◎加藤部会長

もし電子媒体でくると、送り返すときに手間がだいぶ省けるのではないのでしょうか。また、入院時はこういう状態だったが退院時はこうだったというような時系列の変化を追加して記載することは個人情報の問題もあるかもしれませんが、いいのではないのでしょうか。

○脇田委員

電子媒体で送るという話はあまり出ていなかったのですが、加藤先生の言われるとおりのやり方が可能であれば効率的にはなると思います。

◎加藤部会長

その他ご質問ご意見ありませんか。

○脇田委員

在宅時の連絡先について、資料2のⅡの1の②の部分ですが、今ちょうど清須のケアマネ会の方で、包括さんからの依頼で、居宅介護支援事業所の一覧の作成をしております。ケアマネを紹介する所は包括さんだけでなく、病院等もありますので、病院からも要望を聞いて、情報を整理して作成しています。これを病院の方にもお渡しして参考にしてもらえれば、どちらにも役立つ情報になるといいと思います。

◎加藤部会長

ありがとうございました。
市が資料を活用するということはないですか。

●事務局

市町は基本的事項しか分からず、サポートセンターからあげていただいたレインボーネット上の情報を共有しています。

◎加藤部会長

先程の連携シートを様々な場所で共有してコンピューターに入っていれば情報としてすぐとり出せる。そんな使い方は可能ですか。

●事務局（包括）

包括といたしましては、入院時の情報につきましては、ケアマネがいらっしゃる利用者さんについては基本的には窓口をケアマネに集約した方がよいと考えているので、連携シートによる情報がなくても担当ケアマネが分かれば対応ができています。

資料2の中の退院の目途の対応で『MSWは全ケースに対応していない』とありましたが、包括の方に入院中の方のご家族からの相談が多く、ケアマネがまだついていない場合があります。ご家族が病名、症状、退院時期についての詳細が分からないときに病院と連携を取ることがあるという状況です。その際の問い合わせの対応はしていただいております。

◎加藤部会長

資料2において困難事例で病院側からの調整・支援の申し出に対し、病院の方で調整をとるという対応であったと病院からのご指摘がありましたが、ケアマネが関わるのは難しいのでしょうか。

●事務局（包括）

包括としては、基本的に入院したら全て病院でというスタンスではありません。もしかしたらやりとりの中で行き違い、ニュアンスの伝わり方が違ってしまったことがあったかもしれません。

◎加藤部会長

その一方で資料3の上から3つめの『入院中の退院支援で施設や転院先病院の相談を家族から受けることがある。どこまで介入して良いのか迷う』とありますが、こういったケースの経験はありますか。

○脇田委員

実はよくあります。ケアマネは入院前からの関係性もありますし、相談しやすい立場だと思っております。入院中の情報はやはり病院が把握

しているので、私は相談を受けたときは病院のワーカーにご相談いただくことを助言し、またワーカーにも連絡を入れます。

◎加藤部会長

ありがとうございます。その他ご意見ご質問はございませんか。

資料1についてですが、災害時に電子連絡帳がなかなか使えるかどうかというあたりで改善の余地があるのではという意見がありましたが、サポートセンターとして今後、連絡帳をどのように拡充していきますか。

○中西コンダクター（オブザーバー）

システムの操作内容が一番のネックです。通常は自分の患者情報しか分からないのですが、災害時の情報開示をすることによって自分の担当患者だけでなく、要援護者として登録されている患者もマップで一覧できるメリットがあるとされています。自分が確認した状況を安否確認情報として要援護者機能から送信でき、患者情報に反映されますが、自分の送信した情報が、その患者のグループに入っていなければ、送信後のその後の患者の情報が分からないということが分かりました。デモによって判明した事案をIIJにフィードバックしていくという話になっております。

◎加藤部会長

中西さんがおっしゃったことを広めていくためには何かしらの訓練が必要と感じます。

●事務局

この件につきましては、1市のみで決められることではなく、北名古屋市、豊山町と話し合う必要があります。色々と検討する余地はありと感じています。

○脇田委員

資料2のレインボーネット登録に大きい病院が登録に至っていませんが、理由は何かありますか。

●事務局

名古屋市に住所がある病院にお尋ねして回答をいただき、理由についても記載いたしました。検討の余地がある病院には働きかけをしていきたいと考えています。

◎加藤部会長

保健所さんのご意見ありますか。

○堀江委員

この1年で連携シートを始め情報基盤はだいぶ整ったという印象です。この1年で整えてきたものをうまく情報発信していくことも大事かと思えます。引き続き医療機関のご意見をいただきながらこの在宅医療連携を考えていくとよいと思えます。

資料2の3の意見の中で末期対応やACPという連携に関するキーワードが出てきましたが、そういった時に整えた情報だけで解決できるのかが気になったところではあります。

◎加藤部会長

ありがとうございます。その他ご意見ありませんか。
貴重なご意見ありがとうございました。
では、3その他、事務局からお願いします。

3. その他

●事務局

コロナ禍での部会の出席ありがとうございました。

第1回目の部会でお伝えいたしました、この地域包括ケアシステム推進委員会は3つの部会で構成されております。各部会とも委員の任期が切れることから、この3つの部会を一つに統合させて行っていきます。新しい委員さんを各団体などにご相談させていただきながら決めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

以上でございます。

◎加藤部会長

これをもちまして、令和2年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会 第2回在宅医療・介護連携推進部会を閉会いたします。ありがとうございました。

4. 閉会

午後3時

会議の結果	会議の経過に示したとおり
-------	--------------

会議の経過を記載して、その相違のないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

署名委員

令和 年 月 日

署名委員